

《プロジェクト名 多品目キノコの効率栽培とバイオマスエネルギープロジェクト》

市町村	鮭川村	対象地域	鮭川村	分野	園芸
実施主体名	合同会社ライズ	代表者氏名	井上勝敏	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	最上郡鮭川村大字京塚1086 TEL0233-55-3567
実施主体構成	2名				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	99,960千円(66,960千円)				
	独自の目標項目	① ナメコ 37万本→94万本 ②シイタケ、アラゲキクラゲ 0袋→4万袋 ③トンビマイタケ 3千袋→4千袋				
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）
産出額	ナメコ 31,500千円	(30,000千円)	(51,800千円)	(66,600千円)	(69,560千円)	(69,560千円)
	他キノコ 1,500千円	(6,400千円)	(12,800千円)	(30,400千円)	(30,400千円)	(30,400千円)
独自の目標項目	ナメコ 37万本	(40万本80t)	(70万本140t)	(90万本180t)	(94万本188t)	(94万本188t)
	他キノコ 3千袋	(1万袋8t)	(1,6万袋13t)	(4万4千袋31t)	(4万4千袋31t)	(4万4千袋31t)
プロジェクト概要	◎実施方針	収穫から包装までの機械のライン化による効率化と、ナメコの低価格時期の多品目栽培(シイタケ、トンビマイタケ、アラゲキクラゲ)による出荷を行い、雇用を維持しつつ経費の抑制を図る。				
	○産出額の増大	33,000千円 → 99,960千円				
	○雇用の創出	750人/日				
	○創意工夫	培地製造から発生作業までの効率化と、ナメコの収穫を機械で行い包装までの一貫したライン化を取り入れ、ナメコ栽培生産調整期（夏場）における他品種栽培生産を増やし、施設の有効利用を図る。 収穫後の廃オガ屑はペレット化してバイオマス温水ボイラーの燃料に使用して暖房や消毒を行う。				
	○実現性	菌床栽培(シイタケ、トンビマイタケ、アラゲキクラゲ)の栽培経験有り。廃オガ屑の水分量はペレット化に適する				
	○地域への波及効果	菌茸栽培の新たな経営スタイルのモデルとして地域の菌茸生産者に波及効果が期待される				
	○その他	①ライン化、機械化によるキノコの衛生的な生産と鮮度向上、作業者の負担軽減と雇用の安定が期待される。 ②フード業界企業間電子商取引業者を利用し販路を拡大する。				

		平成22年度	
事業内容		菌茸生産施設、機械整備	